

毎週日曜発行
2022 7/3

こども新聞 週刊がほピョンプルス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



みんな 子ども だった!?

27

みんなはお寺に行ったことある？ 宮城県松島町の円通院は、美しい庭園や紅葉のライトアップで有名だよ。住職の天野晴華さん(41)は、どんな子どもだったのかな。

円通院は観光地にあります。本業より祖母が開いた食堂や土産店で両親とも忙しく、あまりかまってもらえませんでした。一人っ子だったので、同じ環境の近所の子たちと遊んでいました。小学生の頃から夏休み

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

常に面白く生き方の原点

生きることは考えること。「自分ならどうする？」と想像してごらん。思考力を育てれば、いろいろな道が見えてきます。

に、店先でだんごを売りました。父に「売り上げの1割を小遣いにしていい。売る方法は自分で考えなさい」と言われ、幼なじみと2人、試行錯誤して必死に売りました。現状をいい方向へ、面白く変えるにはどうし



高校生のとき、学校に行きたくないときは、献血に行こうと思いつきました。社会貢献だから先

生も怒れないだろうと。今思うと自分本位な考えで、先生、両親には迷惑をかけたと思います。突拍子もないことはたくさんしましたが、お墓で遊んで過ごし、いずれ人は死ぬと知っていました。限られた時間をどう使うかは自分次第という思いは、いつも心の中にありました。大学卒業後、修行して副住職になりました。

庭園のライトアップは、2005年から。学生時代に過ごした京都で寺を中心にした観光業を見てきて、松島でも何かできないかと始めました。少ない資金でどう実施するか、アイデアを練りました。その結果、お客さまから好評を得て、評判が広まっていきました。新型コロナウイルスの影響で拝観を停止した時期、初めて誰もいない庭園でのんびり過ごし、寺のこと、庭のことは見つめ直しました。今年は、新たな視点で仕掛けをつくり、ライトアップを再開したいです。



あまの・はるか 1980年、宮城県松島町生まれ。花園大を卒業後、1年間修行して円通院副住職となり、2021年から住職。

天野 晴華さん(41歳・円通院住職)

髪をそることに抵抗はなかったけれど、規則が多く、自分の意思で行動できない修行はつらかった。でも、祖父母や両親が必死に守ってきた寺を失いたくないという思いが勝り、やり遂げました。



今週の注目ニュース

◇4日(月) アメリカ独立記念日
1776年のこの日、フィラデルフィアで「自由と平等」を掲げた独立宣言が採択され、イギリスの支配から離れた新国家、アメリカ合衆国が誕生したよ。打ち上げ花火などで盛大に祝うのが、恒例なんだから。

みんなの紙面

- 2面 サイエンス
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー